

令和4年度高次脳機能障害研修会

令和5年1月22日(日) 13:00~16:00

オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

テーマ

高次脳機能障害—その生きづらさの理解

「高次脳機能障害」について「知っています」という人は増えました。

しかし、当事者や家族の生きづらさはどうでしょう。

今回の講演では、高次脳機能障害が生じたことによる「生きづらさ」を当事者・ご家族から伺い、必要な支援について考えたいと思います。

プログラム

講義：高次脳機能障害とは

本多 留美 氏 (広島都市学園大学 言語聴覚専攻科教授・言語聴覚士)

NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま 副理事長)

対談：高次脳機能障害と当事者の心理

鈴木 大介 氏 (ルポライター)

山口 加代子 氏 (中央大学大学院非常勤講師, 日本高次脳機能障害友の会顧問)

鼎談：家族・支援者からみた高次脳機能障害の生きづらさ

松田睦子氏 (NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま 高次脳機能障害家族会 シェイキングハンズ副代表)

山口加代子氏 本多留美氏

鈴木大介氏 プロフィール

1973年千葉県生まれ。子供や女性、若者の貧困問題をテーマにした取材活動をし『最貧困女子』(幻冬舎)などを代表作とするルポライターだったが、2015年に脳梗塞を発症して高次脳機能障害当事者に。その後は高次脳機能障害者としての自身を取材した闘病記「脳が壊れた」「脳は回復する」(いずれも新潮社)や夫婦での障害受容を描いた「されど愛しきお妻様」(講談社)などを出版。援助職全般向けの指南書『「脳コワ」さん支援ガイド」(医学書院・シリーズケアをひらく)で2020日本医学ジャーナリスト協会賞大賞受賞。『不自由な脳』(金剛出版・山口加代子氏との共著)もある。

山口加代子氏 プロフィール

横浜市中央児童相談所に心理判定員として入職後、横浜市衛生局心理相談員を経て、1991年横浜市総合リハビリテーションセンターに臨床心理士として入職。2002年より高次脳機能障害当事者とその家族の支援に携わる。現在、中央大学大学院非常勤講師、日本高次脳機能障害友の会顧問、リハビリテーション心理職会顧問、日本臨床心理士会障害福祉委員会委員。著書は「高次脳機能障害を生きる」(ミネルヴァ書房)、「病気のひとのこころ」(誠信書房)「臨床神経心理学」(医歯薬出版株式会社)。

受講料
無料

申し込み
問い合わせは
裏面をご覧ください

定員 250名
(申し込み受付順)

- 主催 広島県リハビリテーション講習会実行委員会
- 後援 広島県
- 協力団体 NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま

令和4年度広島県高次脳機能障害研修会 受講申し込み

申し込み 〆切：1月6日（金）

① QRコードから事前登録フォームでのお申込み

右のQRコードを読み込んでいただくと申し込みフォームが立ち上がります。

必要事項をご記入の上、送信してください。



② 当院ホームページから事前登録フォームでのお申込み

広島県立障害者リハビリテーションセンターホームページ (<http://www.rehab-hiroshima.org>)

⇒高次脳機能センター⇒お知らせ⇒令和4年度広島県高次脳機能障害研修会について

に掲載しているURLからお申込みください。①と同じ申し込みフォームが立ち上がりますので、

必要事項をご記入の上、送信してください。

*講演後の質疑応答について、事前に質問を募らせていただきます。

テーマについて質問がある方は、申し込みフォームに記載をお願いします。

*定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。受付締め切りのお知らせは、広島県高次脳機能センターホームページに掲載します。

【申し込み後、講習会参加までの流れ】

受付が完了しましたら、お申込みフォームに記入いただいたメールアドレスに自動返信でその旨ご連絡します。

その後、講習会1週間前までに、お申込みいただいたメールアドレス宛に受講用のURLをお送りします。

【注意事項】

*講習会内容の録画録音、写真撮影等、二次使用は固くお断りします。

*当日ご利用のプロバイダ・パソコンにおけるトラブルや制限等、不測の事態によりご覧いただけない場合があります。その際にはご容赦くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ

広島県高次脳機能センター

〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3

広島県立障害者リハビリテーションセンター内

電話 082-425-1455（代表） FAX082-425-1375

Eメール:koujinou-kensyu@hiroshima-wsc.jp(研修受付専用)

(担当：杵築, 栗栖, 井上, 永谷)